

2019年3月1日

各位

三菱製紙株式会社

## 木材チップ専用船の更新について

～環境対応の進んだ最新鋭船(エコシップ)の導入～

三菱製紙株式会社は、この度、木材チップ専用船一隻(当社必要船腹量の約2割)を環境対応の進んだ最新鋭船(以下、本船)に更新することと致しました。

更新の時期は2021年を予定しており、本船は日本郵船株式会社によって運航されます。

本船は、従来船よりも約15%の低燃費のエコシップであると共に、バラスト水管理条約(※1)とSO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)排出規制(※2)に対応した浄化装置が搭載された船舶となる予定です。

今後も当社は環境負荷低減に努めながら製紙原料の調達を行なって参ります。

### 【本船概要】

- (1) 全長:約210メートル
- (2) 全幅:約37メートル
- (3) 載貨重量トン数:約59,900トン
- (4) 積載容量:約4,300,000立方フィート
- (5) 建造造船所:株式会社大島造船所
- (6) 竣工時期:2021年

### 【日本郵船株式会社】

本社:東京都千代田区

代表取締役社長:内藤忠顕

ウェブサイト:<https://www.nyk.com/>

(※1)IMO(国際海事機関)が、船舶のバラスト水(バランスを保つために保持する海水)による海洋環境に影響を及ぼす水生生物の越境移動防止を目的に、浄化装置の搭載を義務化したもの。

(※2)IMOが、船舶燃料による大気汚染防止を目的に、2020年1月から一般海域にて船舶からの排ガスの硫黄分を現行基準の3.5%から0.5%へ制限するもの。

(本件に関するお問い合わせ先)

広報・IR室長 白川 文人 (Tel)03-5600-1485

以上